

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・理念を提示している。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・業務の中で職員1人1人が念頭に入れ仕事に取り組むようにしている。	○
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・入居時の説明会の時に話しをし、理解していただいている。 ・地域の人々には開設時に説明し理解・協力を仰いでいる。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・気軽に立ち寄っていただけるよう、家庭的な環境作りをしている。近所の方々との挨拶や会話をするように心がけている。隣近所の方から花や野菜を頂く機会があり、その際にはお茶を飲み、話しをしてもらっている。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・散歩や買物に出向き、多くの方と話が出来るよう努めている。	○
			・開設して2年目、施設行事を多くし、地域の方々にも参加していただけるよう努力して行きたい。

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>・地域の高齢者・家族からの希望が無い為、実施していない。</p>	○	<p>・地域の方々から希望があれば、助言・指導を行って行きたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>・職員会議にてカンファレンスを実施、評価し改善に取り組んでいる。</p>		
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・家族の来所時にサービスへの取り組み状況、説明や希望等を伺い、サービスに活かして行けるようにしている。</p>		
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・市町村に出向き担当者と面談し施設での状態を常に報告し助言を受けている。</p>		
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>・研修会に参加し、他の職員に情報提供・周知している。</p>		
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・事業所内で虐待についての話し合いを持ち、虐待を見過ごすことのないようにしている。</p> <p>・ヒヤリハット・事故報告書などの提出をしている。</p>	○	<p>・常に利用者の身体および精神状況を把握し、また、職員のストレスから来る虐待行為にならないように常に話し合って行きたい。</p>

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約時充分説明をし、意見を聞き、理解・納得を得た上でサービス提供している。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・利用者が気軽に話していただける場を設けたり、家族からも意見を言っていたけようにしている。</p>	<p>○</p> <p>・苦情処理窓口を設置し、運営に反映して行きたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・来所時に報告したり文書郵送にて報告している。必要に応じては電話にて報告している。</p> <p>・体調不良時には電話連絡している。</p>	<p>○</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・来所時に意見を聞き、意見箱を設置し職員会にて話し合いを行い運営に反映させている。</p>	<p>○</p> <p>・多くの方々より意見を頂けるような取り組みと運営に反映して行きたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・各職員にアンケートを実施、集約し職員会で検討し、今後の運営やリーダー研修の参考にしている。</p>	

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	<p>・研修等には出来るだけ多くの職員が参加できる様にして行きたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	○	<p>・開設1年を過ぎ今後、職員の研修旅行や親睦会の機会、福利厚生を充実したい。</p>

グループホーム道(西ユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・職員個々の努力や勤務状況は常に把握している。	○	・働きやすい環境(職場)にして行きたい。
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・利用時の面接時に本人から良く聴き、受け留めている。	○	・会話を通して洞察力を持って接して行く時間をもっと多くしたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・家族から相談があれば、良く聴き(傾聴)受けとめる(受容)相談の努力をしている。	○	・家族との会話、交流の中から不安や施設に求めることを受けとめて行く努力をして行きたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人、家族の意見を聞き入れ、個人を尊重し、その人らしく生活できる様サービスを提供している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・安心出来る場として納得して、施設生活に馴染める様に雰囲気作りを行い、本人・家族と相談しながら行っている。		

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・一緒に過ごしながら、会話し、人生の先輩である利用者から学ぶ努力をしている。	○ ・生涯発達の観点や人生の先輩である利用者から職員は常に学ばせていただいているという気持ちを大切に努力を続けて行きたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・家族の来所時や電話連絡時に利用者を支えて行けるよう、情報交換・連絡を密にして家族との関係を大切にしている。	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・本人と家族の今までの生活を大切にし、意向を聞きながら、より良い関係、交流を築いて行けるようにしている。	○ ・家族と共に楽しい時間を過ごす事を計画して行きたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・親戚・友人・知人など馴染みの方が面会時、気楽に来ていただき、お茶のみ話をして行かれる様な雰囲気作りに努めている。	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・1人1人が関わりをもてる様、お互いを尊重し支えあえる様に努めている。	○ ・利用者同士の関係を把握し、楽しく生活出来る場の設定を模索して行きたい。

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32 ○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・終了後もいつでも相談や施設の方へ遊びに来て下さい、と話をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33 ○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・利用時に生活歴や情報提供書を元に、本人・家族の希望を聞いてケア計画を作成している。	○	・会話や行動の中から本人の意向を把握していく努力に努めていきたい。
34 ○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・事前面接を行い、本人・家族から情報を得て職員に伝える。	○	・日々の会話や行動の中から読み取り、把握できるよう努める。
35 ○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・生活歴の中から、その人個人の有する力を把握するように努めている。	○	・個々の現状を認識し職員全体で把握できるよう努めていきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・本人・家族・職員と話し合い、介護計画を作成している。		

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・計画に応じて見直しを行っている。サービスに対応できない変化が生じた場合は、家族・本人と話し合い見直しをしている。		
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・介護記録や連絡帳にて情報を共有し職員会やミーティングの折りに話し合っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・グループホームのみである。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・ボランティア、地域の方々の協力をいただきながら支援している。	○	・ボランティア、地域の方々の協力を今後、もっと多く提供して行きたい。
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・ケアマネや地域とのケアマネと相談している。		



グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			
43 ○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人の状態、意向を家族に説明し、かかりつけ医師に受診している。 ・施設の主治医と相談しながら家族の意向を聞き、適切な医療を受けられるようにしている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・協力医療機関の専門医(精神科)の診察が受けられるように支援している。		
45 ○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・施設看護職員が利用者の健康管理、医療機関と連携している。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・病院と連絡を取り合い、退院後もサービスが変化する事も考慮し家族と共に話し合い、相談に努めている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・終末期の在り方を家族と話し合いながら、職員全員で共有している。	○	・本人の意志を尊重し生活が送れるように支援して行きたい。

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・家族に相談しながら、出来る事・出来ない事を説明し家族と協力をしながら状態の変化に備えている。	○	・家族・専門職と連携し本人を支えて行きたい
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・住み替えのダメージを最小限に留める様、本人・家族と共に話し合いを持っている。	○	・今までの生活と変わりなく、変化が少ないように支えて行きたい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> <b>1. その人らしい暮らしの支援</b> (1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人情報の口外、プライバシーの保護については徹底して取り組んでいる。	○	・個人カルテは決められた場所に保管している。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・本人の希望を大事にし、サービスを提供している。	○	・本人・家族と共に考えて行きたい。

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・朝は起きたい時に起床していただき、食事 も本人の希望に合わせて提供している。 ・1日の日課は決めてなく、本人のペースで生 活していただいている。	○	・1日をどのように過ごしたいか希望を聞き、 希望に添った生活が送れるように支援して行 きたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援し、理容・美容は本人の望む店に行け るように努めている	・理・美容については、本人・家族の希望が あれば希望する店に送迎している。「職員で 良い、」という申し出があれば理容は職員が 実施している。 ・化粧は利用者本人の好みでしていただい ている。	○	・化粧・ネイルボランティア等に来ていただ ける機会をみつけ、おしゃれに興味を持っ ただけるように支援していきたい。
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの 好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒 に準備や食事、片付けをしている	・職員と一緒に準備・盛り付け・片づけをして いる。また、献立については食べたい物を聞 き用意する。味付け・手順についても教えて いただく事もある。 ・行事等の時は買物と一緒にいたり、お店 より注文して配達してもらう。	○	・もっと気楽に食べたいものを利用者本人か ら言ってもらえるように配慮をしたい。
55 ○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、 好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日 常的に楽しめるよう支援している	・タバコは所定の場所で吸っていただく様に しているが、現在、喫煙者はいない。 ・飲酒は希望があれば飲んでいただけます。 また、行事などの時にはお酒を提供する。 コーヒー・お茶はいつでも自由に飲めるよ うにしている。	○	・自分でコーヒーやお茶を入れていただくよ うに支援している。 ・其々の嗜好品が提供できるような支援をし ていきたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひ とりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気 持ちよく排泄できるよう支援している	・トイレ誘導やポータブルトイレを使用し気持 ちよく排泄できるように支援している。失禁時 は、素早く衣類交換し汚れた衣類で過ごす事 のないようにしている。	○	・寝たきりになった時に如何に気持ちよく排 泄していただけるか、職員間で検討して行き たい。

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・曜日を決めずに入浴していただいている。	○	・夜間は職員が1人勤務の為、難しいが、夜間入浴希望者がいれば対応を検討したい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・就寝を強要せず、其々の好きな時間まで起きていただいている。眠れない利用者には、職員と一緒にお茶を飲んだり、話を傾聴している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・日常生活の中で、調理・片づけ・盛り付け・洗濯物たたみ等出来る方にやっていただいている。 ・カラオケ、散歩、カレンダー作り、手芸など好きなことをやっている。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・金銭は家族より預かっていない。必要時には家族と連絡をとり、いただく様になっている。	○	・買物などの支払いが自分で出来るような支援ができれば良い。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・家族や職員と買物やドライブの希望があれば出かけている。 ・施設の周りの散歩は職員と一緒にいる	○	・自分から戸外に出かけられるような支援をしていきたい。

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>・日帰りバスハイクなどが出来るような計画を立て実行してみたい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	○	<p>・手紙や年賀状を出せるような支援が出来たら良い。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>・居室には鍵はつけていない。玄関は朝6時から夜9時まで、鍵はかけていない。夜間は安全のため玄関は施錠する。</p>

グループホーム道(西ユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・常に利用者の方が職員の所在がわかる場所にいる様にしている。	○	・夜間は利用者の行動がわかりやすいところにいる
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・包丁は流し台の下に入れてあるが鍵はかけていない。利用者の方が使用する時は見守りをする。	○	・ハサミ・爪切りは利用者本人の申し出がある時はいつでも使用出来る場所に置いてある。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・職員会議(毎月1回)にて、勉強会を行っている(カンファレンスを含む)	○	・日頃から職員の危機管理意識を高めたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・応急手当等訓練を行っている。職員間にて話し合いや看護師から基本的な指導を受けている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・平成19年6月、運営推進会議にて自治会の方と災害時の協力体制を依頼する。防災訓練・消火訓練、年1回実施予定。10月25日に実施。	○	・年2回程、訓練を実施したい(夜間含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・来所時や電話にて話し合っている。		

グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・看護師に状況報告、重症時・緊急時は協力医療機関に搬送できる体制をとっている。 ・常にバイタルチェックや利用者の表情・行動・食欲など生活状況などから異変をすばやく発見できるようにしている。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・処方薬の説明書、看護師の指導にて理解し内服後の副作用に注意し観察している。利用者の処方薬を職員が確認、目を通す様、1つにまとめてある。	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・天気の良い日は散歩に出かける。 ・三度の食事時に汁物を提供し、飲んで頂く。 ・果物・お茶などリビングに備え付け、自由に飲食できる工夫をしている。	○ ・牛乳や水分を多く摂ったり、繊維質の多い食品を摂って行く。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・食後の歯磨き(入れ歯含む)をしている。歯科医師(主治医)往診依頼	○ ・拒否する方の口腔衛生をどのように支援して行ったら良いか、職員間で検討し清潔保持に努めたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事・水分摂取量の記録をしている。摂取量の少ない方は、補助食品やその方の好みの食品を提供している。	○ ・栄養士(外部)に栄養バランスが出来ているか、時々見ていただけるような支援が出来たら良い。

グループホーム道(西ユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・うがい・手洗いの徹底・インフルエンザ予防接種は利用者・職員共に実施している。	○	・うがい、手洗いの励行・面会者への協力をお願いします。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食中毒などの予防のために台所・調理用具等の衛生管理を行っている。 ・調理者や利用者の方の調理前の手洗いを励行している。新鮮・安全な食材を使用している。	○	・冷蔵庫・フリーザーで保存している。 ・物品庫の整理・清掃や賞味期限内の使用の徹底を図る。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・建物の周りに花を植え、飾り、親しみ易い空間を作っている。	○	・玄関や廊下、居室等に花や写真を飾り出入りし易い空間づくりをしている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・和室がありいつでも横になったり、くつろげる様にしている。 ・季節の花や野菜を飾り、季節感を取り入れている。	○	・敷地内に畑があり、花や野菜作りをし、季節感を取り入れている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・和室で横になったり、気の合った利用者同士でテレビを見たり、話しが出来る工夫をしている。 ・ソファー、小テーブルを置きいつでもお茶を飲めるようになっている。	○	・お互いの居室の出入りが自分達で出来るような支援をして行きたい。



グループホーム道(西ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居時、家庭で使用の品物を持参していただき、本人が生活し易い様にしている。	○	・奥様の位牌、ご主人の写真を持参している方がいる。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・各居室の清掃時(毎日)窓を開け、空気の入替えを行っている。 ・エアコン・扇風機・換気扇を使用し除湿・空調など行っている。	○	・鍵の開閉等、自分で行き空気の入替えが出来る。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下、浴室の手摺りを設置。トイレ内も車椅子使用できるように広く、手摺りも設置されている。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・家庭と同じ様な、木造建築で落ち着いた色調にしている。		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・畑に野菜やガーデニング作りを行っている。 ・パッチワーク、刺し子など手芸を通して皆様に余暇を楽しんでいる。	○	・男性利用者の方が興味を持ってもらえるような活動に取り組んでいきたい。

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○をつけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホーム道(西ユニット)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所には○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 木の温もりを感じる事が出来る建物です。
- 施設の内外に花や野菜を植え、四季折々の季節感を感じていただける様、取り組んでいます。
- いつも笑顔で暮らしていただける様、職員皆が「和」を心がけています。
- 地域の方、外来者の方々が気楽に立ち寄っていただける様、取り組んでいます。